

一般質問

予算常任委員会

委員長 橋本 恒夫

◆12億8千万円の大型補正

今期6月定例会では、平成21年度高島市一般会計ほか特別会計1件、事業会計1件の計3議案にかかる審査の付託を受けました。議案の審査は、6月22日と6月23日に委員全員の出席のもと、市長ほか関係職員の出席を求め、慎重かつ丁寧な審査を行いました。

今定例会における補正予算は、3月議会で議決された21年度骨格予算を肉付けした西川市長の政策実現予算として、一般会計11億3千6百万円、国民健康保険特別会計9百万円、病院事業会計1億3千4百万円の大型補正予算です。

一般会計の主なものは、①小学校入学前までの乳幼児の医療費無料化経費の計上、②私

審査の結果、平成21年度一般会計補正予算第1号案、国民健康保険特別会計補正予算第1号案、病院事業会計補正予算第1号案の3議案とも「全員賛成」で「可決すべきもの」と決しました。

今回の補正では、いずれも市民生活に密着した予算が一定確保されたものと考えますが、この上は、市民にとってわかりやすい説明を行い、厳しい市内経済や雇用情勢の一刻も早い回復のため、迅速な事業執行を求めるものです。



饗庭野基地特別委員会

委員長 廣本 昌久

◆砲撃音や獣害対策など

市民の声を反映した要望を

饗庭野基地特別委員会の所管事項であり、また、「基地周辺の障害防止と民生安定に関する事項」、「防衛関係機関への要望活動」等の項目を議題として調査・研究を行うため、5月15日、午前10時から委員会を開催しました。

執行部からは、饗庭野演習場の概要と演習場の使用状況について説明がありました。

演習場への入会慣行については、各委員から入会慣行が入会権の確保に伴うことであるため市民に理解を得るため、演習場への入会制限日数が多すぎる点など、入会慣行の利便性向上に向けた協議を防衛省と行われた。

業の早期制度化と事業実施、自衛隊内の物品等調達における市内事業者の活用、また公立高島総合病院への防衛医官の派遣など、8つの項目について説明を受けました。

各委員からは、砲撃音に関する地元への対策や獣害が大きな問題となっている点など、市民の声をしっかりと反映した要望として早急に対応すべきとの意見が出ました。



自衛隊(戦車)射撃訓練風景

子育て支援とは



澤本 長俊 議員

地域子育て支援センター事業、学

問 今回の乳幼児医療費の無料化についての提案理由は、保護者の経済的負担の軽減とあるが、医療費は乳幼児だけでなく小中学生も1件あたりの金額はほぼ同じだけかかっている。今、医療費の負担を考えなくてはならないのは、乳幼児ではなく小中学生だと考える。

子育てにおけるの安心ということを考えて、乳幼児の月額500円負担を無料にするより、小中学生の医療費を乳幼児と同じように500円、もしくは相応の負担限度額を決めて、それ以上は支援するという方が保護者の安心になると考えるが、当局の考えを問う。

答 健康福祉部長

乳幼児期の子育て支援を充実します
子育て支援については、本市「次世代育成支援対策地域行動計画」

(外来1件あたりの負担額は、保険適応だけで換算すると、乳幼児1千800円・小学生1千900円・中学生1千700円になる)

に基き、地域子育て支援センター事業、学



廣本 昌久 議員

高島市の農業振興について

問 国の21年度補正予算として、農林水産関係では1兆円余りが盛り込まれたが、高島市としてどのような取り組みをされるか。また、農家の安定収入を図るための1つの方法として、高島の農産物をブランド化する取組みが大事だと思うが、市の考えを問う。

答 産業循環政策部長

本市の農業が将来にわたり持続的に維持でき、農家の経営安定に繋げられるよう、今回の補正予算に組み込まれた事業の内容を十分精査し、積極的に取り組んでまいります。

また、環境と調和のとれた特徴ある農産物をブランドとして位置づけ、今後生産拡大と

販売促進に努めたいと考えております。

高島のブランドデザインについて

土地利用計画はどうなっているのか。本計画と密接な関係の都市計画マスタープランの策定はどうなっているか。合併して未だ新しいまちづくりの柱が策定されていないこと大きな懸念を持つ。できるだけ早く策定し、高島のブランドデザイン

都市計画マスタープランの策定を進めています

土地利用調整基本計画は、合併した市域全体を見渡し「守っていくもの」と「活用していくもの」を区分し、市全体における総合的な土地利用の方向性を示すために策定したものです。それらを基に、現在土木交通部で市街地の活性化に焦点をあてた「都市計画マスタープラン」の策定を進めているところです。



たかしま生きものたんぼ米

その他の質問

◆プロポーザルとは